



**はじめに：**1年生の生活科では、学校の周りの通学路を歩きながら探検し、自然や安全施設、人々のようす等で気づいたことを絵や文で表現する。この作品は、自分の家から学校までの通学路を探検して発見したことを、折り紙でいねいにわかりやすくまとめたものである。

**作品について：**野島さんは、夏休みの作品作りとして絵地図にチャレンジした。いつも通る道だから何かあるかわかっていたが、確かめるために、お母さんと家から学校まで何度も行ったり来たりした。そして、家の数、途中で見つけた動物や植物の種類、道路のようす、危険な場所等をじっくり観察している。地図製作にあたっては次のことを指導した。

- ①もっと知りたいと思うことは何回も探検に行く。
- ②探検して見つけたことは絵や文で記録する。
- ③地図の中にまず「自分の家」と「学校」を作る。
- ④「自分の家」と「学校」を結ぶ道路を作る。
- ⑤道路の両端に見つけたものを作る。
- ⑥折り紙の形や色で、何かわかるようにする。

市立図書館で「折り紙」の本を借りてお母さんと折っている。地図の中のスペースに合うように、折り紙のサイズをかえて折る工夫をしている。自

分が道路を歩いた視点で家や木の向きを決めて地図を仕上げている。

**終わりに：**この作品は、岐阜県立図書館主催の地図作品コンクールで入選している。お兄さんのように自分も地図を作りたいという強い願いを持って取り組んだ作品である。毎日の登下校時、何気なく見ている景色を何かがあるか意識しながら見ることによって、新たに発見したこともたくさんあったようである。折り紙の形や色がとても美しく見る人を惹きつける素晴らしい地図である。

**作者の話：**土岐津小学校1年 野島有紗

わたしのおにいちゃんは、いつもなつ休みにちずさくひんをたのしそうにつくっています。それを見て、わたしも大すきなおりがみをつかって、いえからがっこうまでの「おりがみえちず」をつくりました。

「おりがみえちず」をつくるとき、いえから学校までいろいろかんさつすることができました。

どうろをつくるときに、おりがみをちぎって「はりえ」にするところがとてもたいへんだったけど、おりがみの本を見て、いろいろなものをおるときはたのしかったです。「おりがみえちず」ができたときは、とてもうれしくて、なつ休みのいいおもいでになりました。

\*\*\*\*\*